

企画番号 2024-10

推薦システムを使って、あなたにお勧めのクレープを

代表者 Y210199 山本優貴

メンバー Y210199 山本優貴

アドバイザー教員 奥健太先生

[目的]

本企画の目的は、龍谷大学瀬田キャンパスに来るキッチンカー「sunny's クレープ」さんのクレープに対する学生の好み傾向を想定し、推薦システムを通じて「最適なクレープ」を提案する仕組みを構築することである。龍谷大学の魅力を向上させる新しい試みとして、情報技術を活用したアプローチを目指した。

[きっかけ]

取り組もうと思ったきっかけは、火曜日のお昼に龍谷大学瀬田キャンパスに来るキッチンカー「sunny's クレープ」さんのクレープを食べている学生を見て、何故そのクレープを選んだのか他のクレープでもよかったのではないかと考えたことにある。もし学生さんの好みを分析して、その人から得られたある程度の情報から似た好みを学生さんにお勧めできるのではないかと考えた。そうすれば、学生のさらなる満足度を高めると同時に、クレープの選択肢を広げるための手助けになるのではないかと考えた。元々、授業でそういった仕組みの推薦システムについて学んでいたもので、そのような考えに至った。

[計画経過]

要件定義: アプリケーションの基本機能を定義。

開発環境構築: 使用ツールは以下の通り。

- ・開発環境: VSCode
- ・フレームワーク: Django
- ・データベース: PostgreSQL
- ・プログラミング言語: Python

実装: ChatGPT-4o を活用しながら、アプリケーションの大枠を構築。

[調査方法]

アプリケーションについては龍谷祭での利用体験を通じて検証した。

[活動経過]

- 1,要件定義実装(8月に)
- 2,環境構築(8月に)
- 3,実装(8月に)

[成果・結果]

アプリケーションはローカル環境で動作し、龍谷祭で展示された。ユーザー体験を通じて、システムが提案に寄与する可能性を確認した。技術的成長として開発を通じて Python や Django に対する理解が深まり、限られた期間での問題解決力が向上した。今回のプロジェクトでは、個人での開発に伴う負担を感じつつも、大きな達成感を得ることができた。特に、ChatGPT-4o を活用することでアイデアの具現化がスムーズに進んだ。ただし、限られた期間とリソースの中で、アプリケーションのリリースには至らず、実用化に向けた課題が残された。次回は、収集したフィードバックを基にさらに改良を加えたいと考えている。

[参考文献]

- 1, Django 開発公式ドキュメント ('<https://docs.djangoproject.com/ja/5.1/> ')